



こんにちは

村田 けい子 です

2016.4.1
No.45

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

《来年度の事業から》

【子育てしやすい町づくり】

- * 18歳未満の子どもが3人以上いる家庭
3番目以降の保育料は 無料に
- * 児童館事業の充実のため、
スタッフ1名増員し3名の体制に
時間外利用は無料に

* 福祉医療費無料制度…母子手帳をもらった月から、出産した翌月までお母さんも無料に死産・流産の場合も適用する。
外国籍でも、住民登録されていれば対象に。
…150万円の予算を組む。

無料化は広がりますが、やはり窓口負担を無くさないで、3割負担は重すぎます。

* 教育

- ①小学校低学年棟の屋根改修工事
- ②中学校女子トイレ改修工事
洋式1から 3に増やす
和式6を 3に減らす
- ③特別教育事業・・・2名の教員加配。
- ④蓼科高校通学車両運行事業
バスの運行に900万円の補助。
- ⑤中学の部活動の引率などに助成/約220万円

* 立科町公民館に公民館長を配置
コミュニティスクールの実施



* 農林業

①農業用ビニールパイプハウス設置の補助
「1/3の補助 上限は20万円」の補助。
100万円組んであります。

②リンゴ・ワインブドウの苗木の購入補助
これまで町内3か所で試験栽培をして、ブドウ栽培に向いていると判断。その結果もあり(株)サントリーの進出に結びついた。H28年度は新たな担い手に栽培をお願いすることに。農業振興公社「たてしなや」には、引き続き、条件の悪いところの圃場の面倒を見てもらうことに。

ワイン用ブドウの苗木には、175万円の補助、ブドウ畑 約50a分の拡張を予定。

③鳥獣被害防止柵設置補助・・・30%の補助、上限10万円、20件分を予定。 予算200万円
集落ごとではなく、個人の圃場への設置に補助。

* 保育園に7か所クーラー設置

約266万円・・・熱中症対策として
室温が30度になるときもある、雨水を屋根などに散水するが効果なしといえます。体温調節がうまくできない乳幼児にクーラー設置。屋外用手洗い場も設置されます。

* 広域保育に委託 6人分・・・約530万円
0歳児等、町では実施していないために、茅野市や東御市、長野市などへ預けている人が多くなります。町では現在0歳児保育(産休明けから対応)の実施に向けて審議会を設け検討するとしています。

* 保育園では正規職員が2名増えて8人に。それでもクラスは8クラスあるために、**正規職員が3人は不足しているとのこと**。臨時職員は保育士7人、調理師3人、事務員1人、相談員1人となっています。幼児の保育においては、継続性が大事です。

「保育園落ちた。日本死ね」は強烈でしたが、多くの自治体では保育園が足りずに仕事に戻れない家庭が大問題となりました。国は、市町村立の保育園に対して、支援せず、もっぱら民間への移行を推進してきました。国の責任放棄です。町もきちっと職員を配置して、子どもの育ちに責任を持つべきです。

* 保育時間は標準で11時間 (例えば朝7時半～夕方6時半まで)
短時間で8時間 (8~16:00)



オキナ草



今週の
パチリ

ご近所のお家の庭にオキナ草の大きな株が花開いていました。花が終わると白い渦巻き状の種となって、それがおじいさんの白いひげのようで翁草と名がついているとのこと。厳しい冬を越した花たちが、春の日を浴びて、一斉に花開きます。命が輝いています。



我が家のプリムラ
ジュリアン

3月30日 中央公民館で『誕生学』

主催は女性団体『たてしなの里づくり』若い世代含め、およそ50人以上が参加。私もスタッフとして参加。



母親の胎内で、大きくなる赤ちゃんの様子を興味深げに魅入っていました。

多くの子どもたちの歓声が響きました。お昼は、スタッフの心づくしの“すいとん”。初めて食べた人も多く、好評でした。



「どうやって赤ちゃんが育ち、生まれてくるのか」
パパ・ママと子供たちと一緒に学んでいのちの尊さ、不思議さ、逞しさを一緒に考えましょう。

戦争法廃止法案 自公が審議拒否/言語道断 穀田氏が批判

2016年3月31日 9時7分 [しんぶん赤旗](#)

(日刊赤旗の記事より)

日本共産党の穀田恵二国対委員長は30日、国会内で記者会見し、自民・公明の両幹事長が、2月19日に5野党が共同提出した戦争法廃止法案を審議しない方針を示したことについて、「国民の声を無視するもので、けしからんことだ。戦争法を強行した与党の問答無用の姿勢が表れている」と述べました。

穀田氏は、昨年9月に戦争法を強行した際、安倍晋三首相が「これからも丁寧に説明する」と述べていたにもかかわらず、その後もまともな説明責任を果たしておらず、廃止法案審議からも逃げていることを厳しく批判しました。

また、直近の世論調査(3月26日、27日『共同通信』実施)でも、戦争法を「評価する」39%に対して「評価しない」は49.9%にのぼっていること、戦争法施行日の29日には3万7000人が同法廃止を求めて国会を包囲したことをあげ、「『施行反対』『廃止法案を審議しろ』というのが国民の声だ」と強調しました。

穀田氏は、戦争法の施行によって、海外に派兵された自衛隊員が「殺し殺される」現実的な危険が生まれることも国会審議のなかで明らかになっていると指摘。廃止法案の与党の審議拒否について、「これほどひどい話はない。言語道断だ」と重ねて批判しました。

参議院選挙で『戦争法ノー』の国民の声を突きつけてやりましょう。

ポスター掲示にご協力をお願いします。



「力をあわせて 未来をひらく」のポスター。志位さんが両手を結んで、団結を呼びかけています。

参議院選挙は7月10日と決定。衆参同日選挙も取りざたされています。なんとしても「戦争法廃止の政府を」。選挙までで結構です。ポスターの張り出しにご協力を。



(写真)「TPPはいらない」と自民党本部前を通過して抗議する人たちは30日、東京都千代田区

TPP 批准するな！とデモ行進

66団体700人が声挙げる！日本共産党、民進党、社民党、生活の党、無所属の議員が多数かけつけ「党派、立場の違いを超えてTPPを批准させない共同を」とあいさつ。

呼びかけ人は、「一部企業・投資家の利益のため、日本の農業、農山村を崩壊させ、食の安全、医療、経済主権をも侵すTPP協定の危険な内容」を告発。批准阻止へたたかう決意を表明しました。